

授業のヒント

前回の「いっしょに行きませんか」はいかがでしたか。教室で使ってみましたか。今回は絵を使って会話文を提示するアイデアを紹介いたします。

なまえ 絵を見て話そう!

目的
自己紹介ができ、初めて会った人に簡単な質問ができるようになる
学習者のタイプ
初級
クラスのタイプ
6人以上
準備するもの
会話シート

文字で書いた会話文を読む場合、学習者は間違わないで読むことに気を取られ、会話の流れや意味を考えないことがあります。「絵を見て話そう!」は、文字に頼らないで会話の流れや意味を考えながら会話ができるようになるためのアイデアで、いろいろなレベルの学習者に対して使うことができます。ここでは初級の学習者に初対面の人との会話を教える授業を例にとって説明します。


方法


●教室で



- 先生は「お名前は?」「～(名前)です。どうぞよろしく」「お国はどちらですか」「～(国の名前)です」などのひとつひとつの表現について名前を書いたカードや地図などを使って教え、学習者に練習させます。
- 次にまとまった会話の練習に入ります。会話シート1を学習者が見えるように黒板に直接書くか、紙に大きく書いて貼ります。教師は指示棒または手で会話シートの絵を指しながら、会話例1の会話を教師の後に続いて学習者全員と一緒に言わせてみます。会話例1は学習者には見せず、会話シート1の絵を見ただけで言えるように練習させます。
- 会話の意味や流れがわかり、会話に慣れてきたら、学


- 1グループと2グループの役割を交替して練習させます。
- 学習者をペアにしてA、Bの会話を練習させ、各ペアが十分言えるようになったら1ペアずつ発表させます。


会話シート1


① A:  ?
B: _____

② A:  ?
B: _____

③ A:  ?
B: 

④ A:  ?
B: _____

⑤ A:  ?
B: _____

⑥ A:  ?
B: _____

会話例1

- ① A: すみません。お名前は?
B: (名前)です。
- ② A: すみません。もう一度言ってください。
B: (名前)です。
- ③ A: (名前)です。どうぞよろしく。
B: どうぞよろしく。
- ④ A: お国はどちらですか。
B: (国の名前)です。
- ⑤ A: お住まいは?
B: (地名)です。
- ⑥ A: お仕事は?
B: (仕事の名前)です。

●注意点

会話のやり方や内容がわかっていない学習者がいたら、理解している学習者と教師が会話をしてみせます。理解している学習者同士の会話をモデルとして観察させてもいいでしょう。いつも教師から教えられるのではなく、他の学習者を観察することで学ぶことも多いものです。(1)から(5)までの間、常に学習者の理解を確認



しながら授業を進めてください。

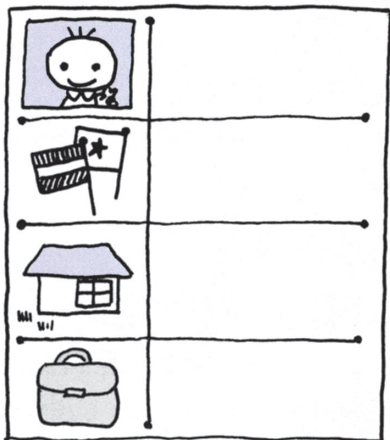
▷会話シートの絵は学習者全員にわかりやすい記号があったら、それを使います。

▷同じ国の学習者の場合は、④を「ご出身はどちらですか」や「お生まれはどちらですか」などの質問に変えてもいいでしょう。

応用

▷(5)の後で、学習者に図1のようなカードを渡し、ペアを変えて練習させます。相手の答えを右の欄に書かせ、後で「この方は～(名前)さんです。～の出身です。～に住んでいます」のように、クラスの人に相手の人を紹介する練習をさせます。

図1



▷別の会話も、わかりやすい絵を使って練習させます。例えば次のような会話を練習させてはどうでしょうか。

会話シート2

①A: ?

B: OK

②A: ?

B: _____

③A: ?

B:

会話例2

①A: きょうテニスを楽しみますか？

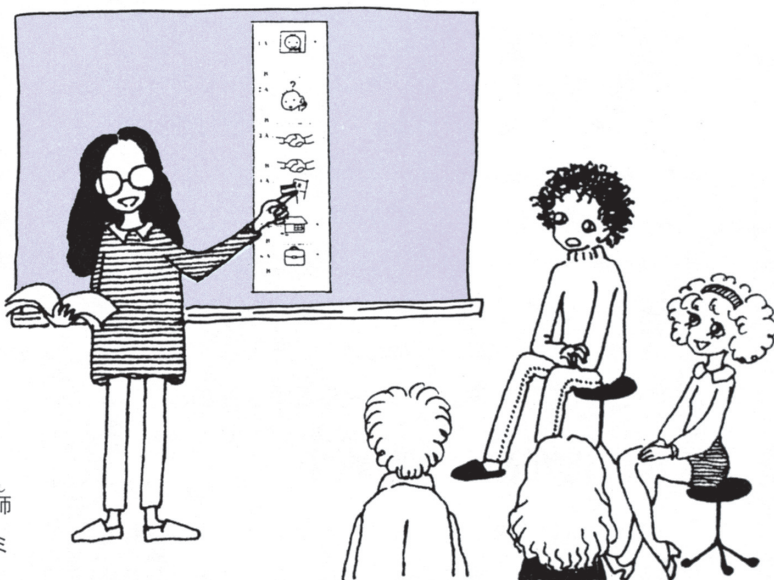
B: いいですよ。

②A: 何時にしましょうか。

B: (時間)時がいいです。

③A: じゃあ またあとで。

B: じゃあ また。



*今回は、日本語国際センターの平成5年度海外日本語教師長期研修に参加したペルー日系人協会日本語普及部の亀甲ミゲルさんのアイデアをもとにしました。

今回は絵から会話をイメージするアイデアを紹介しました。絵に自信のない人でも簡単な絵ならかきますね。簡単な絵でも、先生の手作りの教材は学習者にとって大変うれしいものです。あるいは学習者に絵をかいてもらってもいいでしょう。自分の作った教材を使うと、学習者も勉強が楽しくなるのではないのでしょうか。

みなさんも絵の他に何か楽しいアイデアがあったら、お便りをください。

このコーナーの担当：笠原ゆう子 木山登茂子(日本語国際センター日本語教育専門員)

